

# 第24回IEEE広島支部学生シンポジウム論文フォーマット

## The 24th IEEE Hiroshima Section Student Symposium

### Papers Format

電気 太郎<sup>†</sup> 情報 花子<sup>††</sup>

Taro Denki<sup>†</sup> Hanako Joho<sup>††</sup>

<sup>†</sup>HISS 大学 工学部 <sup>††</sup>HISS 大学 情報工学部

## 1 概要

これは第24回IEEE広島支部学生シンポジウムの論文フォーマットである。論文の原稿を執筆する際は、このフォーマットに従うこととする。なお、英語論文は同様の形式だが英語表記のみとする。

## 2 スタイル

原稿はA4判を用いることとする。余白は上部20mm、下部20mm、左右20mmにし、内部領域に原稿が収まるようにする。テキストコードはSHIFT JISを使用する。

### 2.1 表題部

表題は見やすくするために大きなフォントを使用することとする。表題の文字の大きさは14-16ptを使用することとする。著者名等は10ptを用いる。大きいフォントがないときは太字のフォントを使用する。表題および著者名は和文・英文両方を記す。所属機関名は和名のみを記す。著者が複数で所属がそれぞれ異なる場合もそれぞれ記す。

### 2.2 本文

1. 本文のフォントの大きさは9-10ptとする。
2. 本文は2段組とし、ページ数は原則2-8ページ（両面刷り1-4枚）とする（ページ番号は入れないこと）。
3. 本文は「である」調とし、できるだけ平易に表現する。専門用語以外は常用漢字を使用する。句読点は「,」「.」に統一する。
4. 全体を通して用語を統一する。
5. 略語に関しては、( )内に名称を記載する。また、脚注を使用してもよい。
6. 数字は原則としてアラビア数字を用いるが、文章になっている場合は漢数字を用いてもよい。（数100m→数百m）

### 2.3 図、表および写真

1. 図表はA4判の紙1枚当たり1, 2点を目安とし、鮮明に描く。また、図および表には表題、通し番号をつける。
2. 図・写真は原稿をそのまま使用するのので、大きめに描き、線の太さ、濃淡、文字の大きさに注意して作成する。
3. グラフの縦軸、横軸には必ず軸の名称と単位を記入する。

## 2.4 文献

1. 引用文献は本文の登場順に通し番号を付け、本文中該当部分に[1]等のように印をつける。
2. 1文献につき1番号を対応させる。同一著者の別の文献は別番号とする。
3. 文献の引用にあたっては必ず出典を明記し、必要に応じて原著者の了承を得る。
4. 文献の著者名は日本語ならばフルネームで示し、英語ならば名前はイニシャルで書く。

## 3 特許に関する注意

本シンポジウムは、特許法第30条第1項（発明の新規性の喪失の例外）の対象とならない。このため、本シンポジウムで発表する内容を特許申請する予定のある方は、論文集の発行日（2022年11月19日）より前に特許申請を行っていただきたい。

## 4 査読用論文の提出先

第24回HISSホームページの査読用論文提出フォームの投稿システムにアクセスして、連絡先の住所、所属、名前、投稿論文の分野、等必要事項を記入し、原稿PDFファイルを2022年08月22日（月）17:00までにアップロードする。投稿システムの利用が難しい場合は、下記E-mailへ。

## 5 問い合わせ先

質問等は下記までお問い合わせ願います。

〒700-8530  
岡山市北区津島3-1-1  
岡山大学大学院 自然科学研究科  
ネットワークシステム学研究室 内  
(第24回HISS論文TP委員長 納富 裕)

E-mail : [hiss24th\\_tp@s.okayama-u.ac.jp](mailto:hiss24th_tp@s.okayama-u.ac.jp)  
第24回HISS HP: <http://hiss24th.sakura.ne.jp>

## 参考文献

- [1] T.Denki,H.Joho,"24thHISS," *IEEE*,Vol.1,No.1,pp.1-10,2022.